

議会閉会中も案件の審査・調査を行う委員会。その活動内容をお知らせします。



▶たびたびあふれる水田川の現地調査  
(古田3丁目付近)



## 厚生教育

### ボランティア活動で介護予防を

■10月3日開催

**介護支援ボランティア養成講座の説明を受ける**

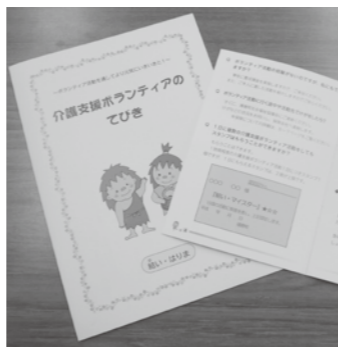
講座の目的としては、地域で高齢者の生活を支える地域包括ケアの推進を目指します。また、ボランティア活動を通して地域貢献や社会参加により、自分自身の生きがい

づくり・介護予防の推進を図っていきます。

研修終了後の活動は、参加者の意向を聞き、町内デイサービス施設内での活動を考えています。将来は在宅の方へのボランティアができれば、地域の高齢者への声かけや見守りなど、「地域の見守りネットワーク」の推

進が図れることも目的にしています。

協力施設でボランティアをすると「ボランティア手帳」にスタンプが押され、数が集まると敬意を表した称号「結いマス



▲ボランティア手帳「結い・はりま」

ター」に認定されます。

**いじめ対策の強化を**  
各学校の実態に即して、「いじめ防止アクションプラン」を作成。教育委員会では「いじ

ついで調査しました。

**危機管理グループ**

**津波避難ビル指定状況**

避難対象地区外まで避難が遅れた住民などが緊急的に一時避難するための施設として、現在、播磨・播磨西・播磨南の各小学校、播磨南中学校、民間マンションの5施設が指定されています。

■11月16日開催

**総務グループ**

**日本テルベン化学㈱との**

め対策マニュアル」を見直し、「命」を大切にす

る指導を繰り返し行うことなどを全教職員で共通理解しました。

■11月21日開催

**生活保護の現状・課題**

加古川健康福祉事務所から、本町における生活保護の現状や課題について説明を受けました。この日はほかに、ごみ処理広域化の進捗状況やし尿処理場の方向性について報告を受けました。

**訴訟経過を報告**

平成24年3月30日、神戸地方裁判所姫路支部に1760万円の損害賠償を提訴し、5月16日に第1回口頭弁論。現在も訴訟が継続し、結審まで半年以上の期間が見込まれます。

**企画グループ**

**JR土山駅南町有地活用の進捗状況**

11月下旬の意見募集後、12月末には活用方針がまとまる予定です。

## 総務建設

### 水田川、浜幹線道路を現地調査

■9月6日開催

**税務グループ**

**固定資産税・都市計画税課税誤りを報告**

原因は、土地評価業務委託業者の標準宅地価格のデータ入力ミスで、誤算定のまま課税したからです。今後、委託業者からのデータなどの確認を

徹底し、再発防止に努めますとの報告を受けました。

■10月4日開催

**安全・安心面から**

**現地調査を実施**

集中豪雨などで水害が発生する現地を調査しました。

浜幹線では、播磨西小学校区の要注意交差点に

新政会  
福原 隆泰



## 路線バスへの補助基準は

三村理事 ▲赤字分が補助額となる



▲新路線のバス運行に住民の要望を反映すべき

**問** 民間で運行する路線バスへの補助額はどのように算定しているのか。

**答** 補助路線の運行で実際に要した費用と国が示す標準的な費用を比較して少ない方をもとに年間の走行距離を乗じて総事業費を算出する。そこから運賃収入などを除いた赤字分が補助対象額となる。

**問** 11月から新しく運行された路線は、町が要望して実現したものか。また税金による補助額はどれくらいになるのか。

**答** 補助路線の運行で実際に要した費用と国が示す標準的な費用を比較して少ない方をもとに年間の走行距離を乗じて総事業費を算出する。そこから運賃収入などを除いた赤字分が補助対象額となる。

**問** 11月から新しく運行された路線は、町が要望して実現したものか。また税金による補助額はどれくらいになるのか。

**答** 今回の改訂を受けて、事業者・近隣市町へも発行を呼びかけたい。

**問** 平成24年の春、配布された土山駅周辺バス路線図と時刻表の改訂版は。

**答** 今回の改訂を受けて、事業者・近隣市町へも発行を呼びかけたい。

### 利用増を図る努力を

町長 民間事業は 民間の力で

**答** バス会社が赤字路線を見直すために国や県への路線変更を8月に行い、手続きを経て11月から運行された。町の補助額は利用者数によって大きく変わるので現時点では示せない。

**問** 利用増を図るには、町として住民へのPRを積極的に行い、住民の要望を聞いてルートや時刻などバス会社と調整・協議すべきではないか。

**答** 新たな路線については、町広報に掲載した。民間業者が行政以上に研究して路線を提案している。町が主体の事業ではないので、民間でやるべきこと。

**問** 平成24年の春、配布された土山駅周辺バス路線図と時刻表の改訂版は。

**答** 今回の改訂を受けて、事業者・近隣市町へも発行を呼びかけたい。

## JR土山駅南町有地整備は

三村理事 ▲検討委員会で方針を策定したい



青雲21  
藤原 秀策



▲整備が待たれる土山駅南町有地

**問** 計画地(町有地)は、本町北側の玄関口で、貴重な場所でもあり、その整備が課題である。検討委員会と業務委託業者の役割は。

**答** 委員会は9人で組織し、その町有地の活用と事業化方針を策定する。一方、委託業者は導入機能、条件の整理、規模整備イメージの整理など、事業手法、事業期間などの調査業務を行っている。平成24年12月末には、パブリックコメントをふま

えて、委員会においてその活用、事業化方針がまとめられる。

**問** 土地は賃貸にするのか売却か、また建物はどこが建てるのか。

**答** 町有地を貸し付け、民間事業者による播磨町らしい景観づくり、建物の建設を視野に入れ検討を行っている。

**問** 公共スペース、商業機能は。

**答** 町の財政負担の少ない施設整備を行う。防犯、防災に貢献できる機能の導入や子育て支援スペースなどの確保を検討している。また基本方針案において、この駅南町有地については住宅以外の商業機能などの拠点を担うこととしている。

**問** 土地調査の結果は。

**答** 埋設物と土壌調査を行った結果、1区画で鉛などが、6区画でフッ素が基準値を超過している。早急に追加調査を行い、存在範囲を確認した上で対応を検討したい。